

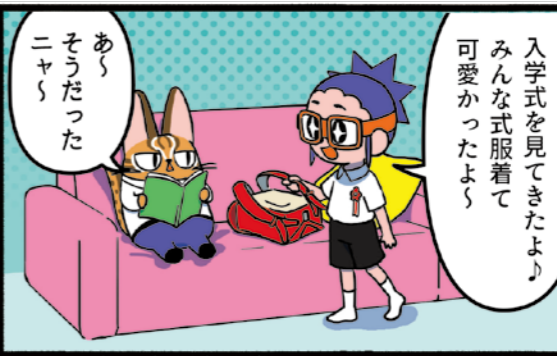
ハイウ  
タマ

イリオモテヤマネコ。特殊な機器を取り付けると、なんでもタイムマシンに変えられる。  
小学4年生。平和主義者。パイン好き。

★新年度のスタートです。なにか新しいことを始めたくありませんか？



入学式を見てきたよ、みんな式服着て可愛かったよ



あ、そうだったニヤ



緊張感と誇らしさが感じられて、いつ見ても感動的なニヤ！  
ハイウくんの時はボクも緊張したニヤ

昔は、「元服」という今でいう成人を迎えることを祝う儀式があったのニヤ

昔は、12歳〜16歳だったり、時代によっては5〜6歳で元服なんてこともあったニヤ

## 元服

え〜〜〜!?  
じゃあ、時代が違ったら僕ももう成人してたってこと!?



昔の元服の儀式を見よう!



沖繩の元服は士族の男子が髪型をカタカシラに結う儀式をしたんだニヤ



「冠婚葬祭」の「冠」は江戸時代に公家や武家では髪を結って烏帽子(冠)をかぶせたことに由来しているとも言われているニヤ



おー!



ついでに、おじいとおばあはあの時代の入学式も見ていくニヤ



昭和初期だね!

当たり前だけど、おじいやおばあ達も子どもなのが不思議な感じがするな〜



ハイウくんの入学式を思い出したニヤ  
大きくなったのニヤ

これからも一緒だよ♡

人生の節目に行われる重要なイベントである成人式、結婚式、お葬式、年中行事などを表す「冠婚葬祭」。

古くからのならわしですが、知っているようで実はあまり分かっていないことも多いかもしれません。沖縄特有のものも含め、人生の大切な儀式について改めて紹介します。

### 今月のピックアップ

#### 「新年度」

年度が4月区切りになったのは、明治時代の会計年度に由来すると言われています。多くの学校や企業で入学式や入社式が行われ、新年度を一つの区切りとして心機一転、新たな挑戦が始まります。



#### 「そもそも「冠婚葬祭」ってどんなこと?」

「冠」はもともと、成人を祝う儀式の「元服」のことです。昔は大人の証として、冠か烏帽子をかぶったことから、「冠」の字で元服を表すようになったと言われています。現代では成人式に限らず、「お祝いごと」が「冠」として捉えられ、七五三や入学式や卒業式、沖縄ならではの風習である生年祝い(トウシビー)やカジマヤーなども含めて考えられています。

「婚」と「葬」は文字通り、結婚式とお葬式のこと。「祭」は「お祭り」の意味とは少し異なり、先祖に祈りや感謝を捧げる儀式です。沖縄特有の年中行事なども含まれます。

冠婚葬祭のことをきちんと説明できるとちょっと誇らしいニヤ



#### 「沖縄ならではの結婚式の特徴は?」

沖縄の披露宴の参加人数の多さや、余興の豪華さは全国でも有名です。結婚式の始まりに踊られる、沖縄で

は定番の「かぎやで風」も、県外の出席者にとっては珍しいと感じるでしょう。

また、あるアンケート※によると沖縄は結納を行う人が90%以上と、高い割合だという結果が出ています。干潮から満潮になる時間帯に、伝統菓子である松風などを取り交わすのが特徴です。

※アンケート…結納品・両家顔合わせの実施状況(ちゅらとく)

結納品は、結納品のほかに、華やかなピンクの生地のお菓子も供えられる



#### 「沖縄の葬儀に関する風習はどんなこと?」

葬儀に関する取り決めや、やり方は県内の各地域によって異なります。初七日から七日(とくに四十九日まで)続く法要のほか、昔ながらの風習として、お葬式の翌日にお墓参りをする「ナーチャーミー」や、亡くなった方の魂を落着かせる「マブイワカシ」、棺をかついで歩いて故人を送る「野辺送り」などがあります。

現代では葬儀社がすべてを取り仕切り、昔ながらの風習を行うことは減少傾向にあります。

沖縄には知らなかったお葬式に関する風習が色々あるんだね



#### 「代表的な沖縄の年中行事が知りたい」

二十四節気の「清明」にあたる4月5日を中心に行われる清明節や、旧正月や旧盆、あの世の正月と言われる「十六日祭」などは、今も沖縄の生活に根付く年中行事です。春分や秋分のお彼岸や、冬至やムーティーなどの季節に合わせて行う行事もあります。祖先を大切にし、旧暦が今も暮らしに根づく沖縄には、冠婚葬祭の「祭」として数えることができる行事がたくさんあります。



白餅や御三味(うさんみ)の重箱、果物、お花などのシーミーのお供物

参考資料:沖縄の冠婚葬祭(那覇出版社)